

美術館の収蔵美術作品等を系統的に展示し、三か月に一度の展示替えを行うなど、作品の保全を図りながら鑑賞に供している。また、特集常設展ではテーマに沿って収蔵作品を追加紹介している。

○特集常設展

一月十二日～二十七日

3、収集

近代美術の流れを展望するにふさわしい作品の収藏に努力しており、本年度は、関根正二「裏の娘」等を収集した。

十四、福島県立博物館

昭和六十一年十月に開館した県立博物館は平成二年十月七日に、入館者百万人を達成し、着実な歩みを示している。

平成二年度の事業内容及び行事予定は次のとおりである。

1、常設展

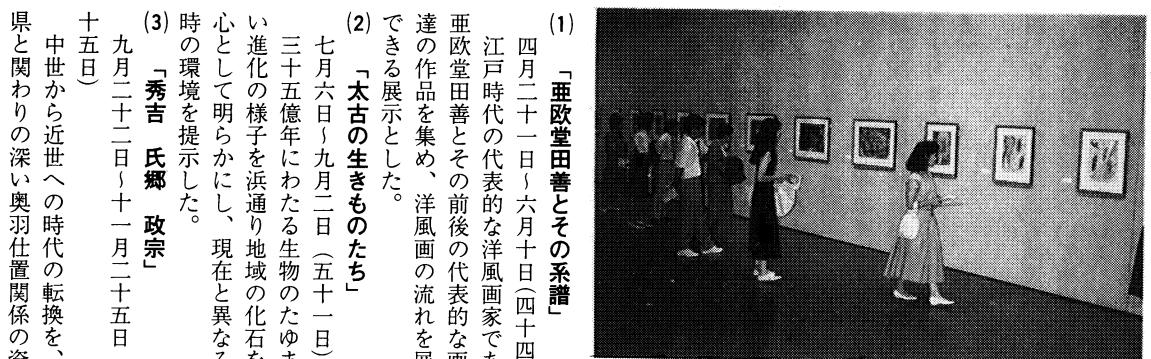
(1) 総合展

本県の歴史の流れを原始から現代までその生活を中心にして展示するとともに、歴史の背景となつた自然と人々のかかわり合いをテーマとする構成をとつている。

(2) 部門展

民俗、考古、歴史美術のそれぞれ専門性の高いテーマを扱い、総合展示を補い、理解を深めることを目的としている。

2、企画展



シャガール展（県立美術館）

を中心に展示し、戦国の世が終わっていく過程を明らかにした。

（4）「日本の音色」

一月十九日～三月二十一日（五十三日）

古代から現代に至る楽器を提示し、各々の時代の音楽と生活の関わりに触れ、音楽を通じて各時代の特色を探る展示とする。

3、講演会

（1）企画展講演会

四月二十九日（日）

「亞欧堂田善と江戸時代の洋風画」

成瀬不二雄（大和文華館次長）

（2）企画展講演会

七月十五日（日）

「日本の恐竜」長谷川善和（横浜国立大学教授）

（3）企画展講演会

九月三十日（日）

「秀吉政権と東北」小林清治（福島大学名譽教授）

（4）企画展演奏会

三月三日（日）（予定）

「雅楽ミニアンサンブル」宮城慎三（琴麗学園理事長）

（5）金曜講座

や実技の指導を実施する。

（1）一般講座

学芸員や外部講師による詳しい講義

（2）野外講座

五月二十一日（土）

（3）映画会

五月十九日（土）

（4）縄文時代

五月十二日（土）

（5）弥生時代

五月十九日（土）

○民具の見方調べ方 五月二十七日（日）

○博物館と保存科学 六月九日（土）

○祭りと祀 六月三十日（土）

○豊臣期の奥羽越城郭破却令 十月十三日（土）

○鉱物の世界 十月二十七日（土）

○土器を作ろう 二月九日（土）

○化石の宝庫 いわきの大地 二月九日（土）

○秋田蘭画 五月十三日（日）

○エジプトの考古学 五月二十七日（日）

○魂の作法 稲のまつり八月十九日（日）

○焼物の名前 八月十九日（日）

○会津における工業の発達二月九日（土）

○拓本をとろう 五月二十六日（土）

○祭り体験 七月十二日（木）

○土器を作ろう 四回 八月四日（土）

○おもちゃを作ろう 三回 七月二十一日（木）

○おもちゃを作ろう 三回 八月八日（水）

○おもちゃを作ろう 三回 十月二十四日（木）

○おもちゃを作ろう 三回 八月五日（日）

○おもちゃを作ろう 三回 八月二十一日（木）

○おもちゃを作ろう 三回 七月二十二日（木）

○おもちゃを作ろう 三回 八月二十二日（木）

○おもちゃを作